


土砂災害に備えよう!

6月は土砂災害防止月間

土砂災害ってなに?

土砂災害には「がけ崩れ」「地すべり」「土石流」の3つの種類があります。これらが発生する時には、多くの場合前兆現象が現れます。前兆現象に気付いたら、周囲の人に知らせて、いち早く安全な場所に避難しましょう。

土石流

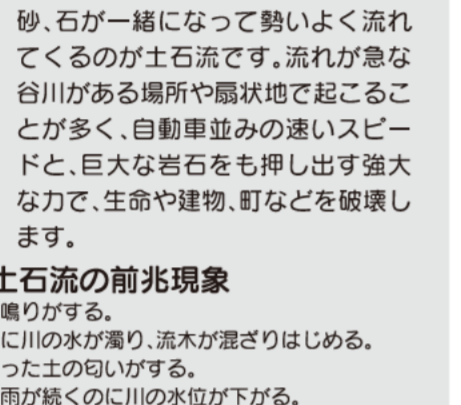


大雨や地震のときに、水と川の土、砂、石が一緒になって勢いよく流れてくるのが土石流です。流れが急な谷川がある場所や扇状地で起こることが多く、自動車並みの速いスピードと、巨大な岩石をも押し出す強大な力で、生命や建物、町などを破壊します。

●土石流の前兆現象

- ・山鳴りがする。
- ・急に川の水が濁り、流木が混ざりはじめる。
- ・腐った土の匂いがする。
- ・降雨が速く川の水位が下がる。
- ・木が裂ける音や石がぶつかり合う音が聞こえる。

がけ崩れ

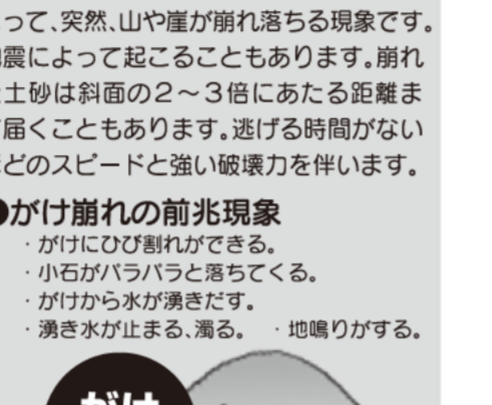


斜面が急な山に雨水がしみ込むことによって、突然、山や崖が崩れ落ちる現象です。地震によって起こることもあります。崩れた土砂は斜面の2～3倍にあたる距離まで届くこともあります。逃げる時間がないほどのスピードと強い破壊力を伴います。

●がけ崩れの前兆現象

- ・がけにひび割れができる。
- ・小石がバラバラと落ちてくる。
- ・がけから水が湧き出す。
- ・湧き水が止まる、濁る。
- ・地鳴りがする。

地すべり



緩やかな斜面に水がしみ込み地面が動き出すのが地すべりです。1日に数ミリ程度の動きですが、突然数メートルも動く場合もあります。広い範囲にわたって起こるのが特徴で、家や畑、道路などの交通網に一度に大きな被害を与えます。

●地すべりの前兆現象

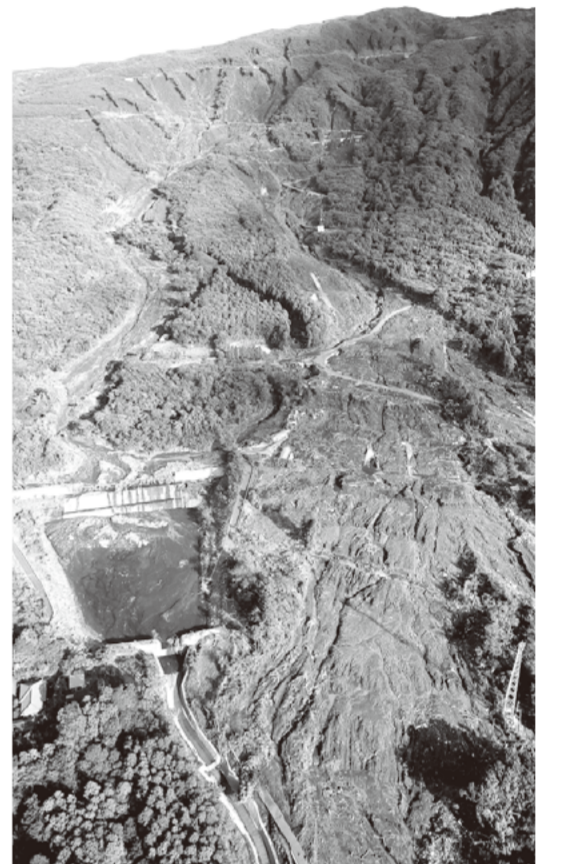
- ・地面がひび割れ、陥没。
- ・がけや斜面から水が湧き出す。
- ・井戸や沢の水が濁る。
- ・地鳴り、山鳴りがする。
- ・樹木が傾く。
- ・亀裂や段差が生じる。

日本は急峻な山地や崖地が多く、地震や火山活動も活発である等の国土条件から、毎年数多くの土砂災害が発生しています。

国土交通省と各都道府県では、昭和58年から毎年6月を「土砂災害防止月間」として、土砂災害の防止と被害の軽減を図るための各種活動を実施しています。平成26年度は、土砂災害に関する防災知識の普及、警戒避難体制整備の促進等を強力に推進し、人命、財産の被害防止、軽減するため、行政と住民が連携をとり、諸行事や活動に重点を置いて国、県、市町村等が連携して取り組んでまいります。

平成25年は土砂災害が941件発生しました。特に10月に関東地方沿岸に接近した台風26号の影響により中国地方から北海道の広い範囲で多くの雨が降り、各地で土砂災害が発生しました。中でも東京都大島町では1時間100mm程度の猛烈な雨が数時間降り続き、連続雨量が800mmを超えました。大雨で地盤が緩み、土石流が発生。大量に発生した流木により被害が拡大し死者・行方不明者39名の甚大な被害が発生しました。

平成25年度は群馬県内では大きな被害はありませんでしたが、土砂災害が発生しました。群馬県内には火山もあり土砂災害が発生する危険性は低くありません。土砂災害防止月間に土砂災害に関する防災意識を高めたり、土砂災害や災害が発生した際の対応など、家族や職場の方と相談してみましょう。



「台風26号の猛烈な雨により大規模な土砂災害が発生」(写真提供:共同通信社)

土砂災害から身を守る3つのポイント


台風や大雨情報が出たら土砂災害に注意しよう

- 1 台風が来る前に**
お住まいの場所が「土砂災害危険箇所」かどうか確認しましょう。
土砂災害が発生した6割は「土砂災害危険箇所」で発生しています。お住まいの場所が「土砂災害危険箇所」にあるかどうか確認しましょう。
●国土交通省砂防部のホームページ
http://www.mlit.go.jp/river/sabo/link_dosya_kiken.html
●国土交通省ハザードマップポータルサイト
<http://disapotal.gsi.go.jp/>
または、お住まいの市町村役場にお問合せください。
※ただし、土砂災害は、土砂災害危険箇所以外でも発生します。
- 2 雨が降り始めたら**
土砂災害警戒情報や雨量の情報に注意しましょう。
大雨による土砂災害発生危険度が高まった時には「土砂災害警戒情報」が発表されます。雨が降りだしたら、雨雲の動きと土砂災害警戒情報に注意しましょう。
●気象庁のホームページ
<http://www.jma.go.jp/jp/dosha/>
●国土交通省砂防部のホームページ
http://www.mlit.go.jp/river/sabo/sabo_ken_link/index.html
●群馬県土砂災害警戒情報
<http://www.dosya-keikai-gunma.jp/cgi-bin/index.cgi>
※自治体によっては携帯電話等に自動的に土砂災害警戒情報を連絡するサービスもあります。
- 3 豪雨になる前に**
土砂災害警戒情報が発表されたら早めに避難しましょう。
土砂災害警戒情報は、土砂災害発生危険度が高まったときに都道府県と気象庁が共同で発表します。この発表を参考として、市町村は避難勧告等を発表します。
大雨が降り、土砂災害警戒情報や避難勧告等が発表された地区にお住まいの方は早めに安全な避難所に避難しましょう。特に、がけの下や溪流沿いなどにお住まいの方は、避難が可能なうちに避難しましょう。



高崎市榛名山区 社家町地区避難訓練の様子

群馬県の土砂災害



昭和57年(1982年)大型の台風10号は8月2日午前0時頃に渥美半島に上陸。その日のうちに日本海へ移動し温帯低気圧となりました。四国・中国地方の東部から東北地方に及ぶ広範囲で大雨となりました。

群馬県内にも死者・行方不明者6名、負傷者52名、家屋全壊56戸、家屋半壊219戸、床上浸水614戸、床下浸水5121戸の大きな被害をもたらしました。

榛名山観測地点では7月31日から雨が降り出し、8月1日の雨量は334mmを観測しました。榛名山地区の8月の平均雨量の3/4が1日で降った計算になります。高崎市榛名山区(旧榛名町)では、この大雨の影響を受け、大規模な土砂災害が発生しました。榛名神社の神殿殿などに土石流が押し寄せ、付近の国道や県道が寸断され、完全に孤立した状態になりました。

群馬県民の安全を守る砂防事務所

利根川水系砂防事務所では...

地域や住民の暮らしを守る砂防事業を肌で感じ、知識と理解を深め、防災について学ぶ「砂防公開講座」を開催しています。座学と現場見学による、楽しく学ぶ講座です。(今年度は4回実施予定)受講生を募集する際は、ホームページに掲載します。



榛名川上流砂防堰堤(登録有形文化財)

渡良瀬川河川事務所では...

渡良瀬川上流域で土砂の流出を防止するため「砂防えん堤」等を施工しています。日光市足尾地区では、荒廃地の安定・緑化のため、「山腰工」を施工しています。「山腰工」ではボランティアの方々と連携し、植樹活動を行っています。



ボランティアの方々と植樹活動

私たちの防災対策

過去の経験を生かし 避難訓練を実施



高崎市 榛名山区 社家町地区
防災責任者 小山 宏 さん

私達の住む榛名神社門前の榛名山区は地形的に雨が降りやすく、過去にも多くの土砂災害が発生したと伝えられています。最近では昭和57年の土砂災害に発生。地区内の沢の多くから土石流が発生し、付近の道路を塞ぎ、3日間程度孤立してしまいました。その災害をきっかけに昭和58年より梅雨時期に榛名山区社家町地区全世帯参加の土石流予報による避難訓練を実施しています。過去の経験から「榛名川から腐葉土の臭いがする」「神社の参道の雨水が走り出した」「庭先の石垣から湧き水が出てきた」などの現象がみられると土石流発生危険が高まります。これらの現象があらわれたら、地区の防災責任者に連絡。防災責任者は市役所等と連絡をとり、注意報や警報が発令され、避難場所の「榛名歴史民族資料館」に急いで避難します。昭和59年7月27日と昭和63年8月29日は実際にこのシステムに基づき円滑な避難をすることができました。今年も万が一に備え、6月後半に地区全世帯参加の避難訓練を行う予定です。

◎土砂災害に関するお問い合わせ先
群馬県 県土整備部砂防課
〒371-8570 群馬県前橋市大手町1-1-1 TEL.027-226-3631
<http://www.pref.gunma.jp/>

国土交通省関東地方整備局 **利根川水系砂防事務所**
〒377-8566 群馬県渋川市渋川121-1 TEL.0279-22-4177
<http://www.ktr.mlit.go.jp/tonesui/>

◎この広告に関するお問い合わせ先
国土交通省関東地方整備局 **渡良瀬川河川事務所**
〒326-0822 栃木県足利市田中町661-3 TEL.0284-73-5559
<http://www.ktr.mlit.go.jp/watarase/>